

# 公共図書館と美術館・学校との連携事業

## 長野県 松川村図書館

### 基本データ

所在地	長野県北安曇郡松川村 84-1
職員数	7人
うち司書数	4人
蔵書数	約 77,000 冊
利用登録者数	約 6,300 人
年間貸出冊数	約 70,000 冊 (児童用図書貸出数 約 31,500 冊)

### テーマ・活動のねらい等

#### 【テーマ】連携

#### 【活動のねらい】

- 世界有数の絵本美術館が村にあるという利点を最大限に活かし、対外的な発信をするとともに、村の子どもたちに本当に良いものを身近に感じてほしいと願う。

### 取組・活動の概要

- 松川村図書館は、前身の公民館図書室時代から安曇野ちひろ美術館と深い関わりを持ってきた。美術館の開館準備室長として赴任してこられた方と当時の図書室職員の繋がりから、互いの館でのおはなし会に演者として参加。また、美術館の仲介で村に多数の絵本・児童書の寄贈もある。
- 児童サービスを運営の中心に据えた図書館が2009年に開館した後は、絵本作家によるワークショップや講演会、『窓ぎわのトットちゃん』をモチーフとした公園の建設・運営など数多くの事業を共催してきた。
- 図書館内ではいわさきちひろのコーナーを常設し、美術館の企画展に合わせた特設コーナーもその都度開設している。



松川村図書館内



絵本作家によるワークショップ



いわさきちひろのコーナー

- 2008年より中学校図書委員による「夏休み読み聞かせボランティア活動」が美術館でスタート。翌年より図書館職員も選書や読み聞かせ指導に関わる。今後も引き続き実施予定。



夏休み読み聞かせボランティア活動



図書館内でのリハーサルの様子

- 2019年度は新規の取り組みとして、中学生有志による「平和のための朗読会」を美術館で実施した。この指導にも図書館職員が関わった。
- 学校司書と公共司書は綿密な連絡を取り合っており、人事交流も実施されている。月に1度の定期会議の他、さまざまな研修・業者が実施する展示会へも同行している。

### 取組・活動の工夫や特徴

- トップダウンではなく、現場の司書や美術館職員が互いに連絡を取り合い、顔の見える交流を心掛けている。

### 取組・活動の成果や今後の展望

- 美術館と共催することにより、村立の単館では難しいたくさんのイベントが実施できている。
- 1村1校の利点を十分に活かし連絡を密に取り合うことで、子どもたち一人一人に行き届く読書サービスが可能となる。